

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 4月 1日

事業所名 スペック西北

保護者等数(児童数)37

回収数 36

割合 90.9

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	68	20	4	2	見に来たことがないのでわからない	面談で来所してもらう 見学会を行う
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	60	32	0	8	・適切・分からない	送迎などで職員を認知してもらう
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	64	28	0	8	・移転してからきていないためわからない	面談で来所してもらう 見学会を行う
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	92	0	0	8		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	64	24	4	8	・逆に固定の方がいい ・本人に合った活動	今後も児童に合わせて保護者と相談しながらプログラムを作っていく
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	16	32	48	4	なくていい	
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	96	0	0	4		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	92	4	0	4	・メール等で日頃から詳しく教えてほしい	送迎で保護者に会えない方は連絡帳で詳しく伝える
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	88	4	4	4		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	20	60	8	特に必要性は感じていない	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80	16	0	4		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	84	8	4	4		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	32	24	36	8	特に必要性は感じていないフィードバックがあれば大丈夫	
非常時 等の 対応	14 個人情報に十分注意しているか	80	12	0	8		
	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	68	20	8	4		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	40	32	20	8		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	94	0	0	6	とても楽しく通っている	
	18 事業所の支援に満足しているか	80	12	0	8	・丁寧な支援 ・満足だが以前のほうが安心感が高い	安心感を得れるよう日々コミュニケーションを取っていく

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 4月 1日

事業所名 スペック西北

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		必要に応じて机、椅子を片付けている	
	2	職員の配置数は適切である		○	来所児童に合わせ職員の数数を必ず確保している	ヘルプ、他店舗スタッフに児童の情報共有。人員確保。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		平面な構造ではあるが、トイレのみ段差がある	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		担当者会議をしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に一回アンケートに取り組み改善につなげている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		月に一回内部監査を行っている	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に研修を行っている	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		半年に一回保護者と面談を通じて作成をしている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		絵カードを使用して視覚的支援をしている	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月のイベントや日々の運動内容は職員同士意見を出し合って決めている	現状維持
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用児童によって運動プログラムを変えて工夫をしている	現状維持
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日と休日で行い内容を変えている	個別運動にも積極的に取り組んでいく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		運動では集団活動に取り組み、運動以外では個別で宿題や運動に取り組んでいる	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼にて確認している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼にて共有している	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		連絡帳に記入している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		2ヶ月に一回モニタリングを行っている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		職員間でガイドラインに則って支援している	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	統括主任が会議に参加している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	前日の朝に送迎連絡をしている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	フェイスシートに主治医の連絡先記入するところがありスタッフが把握している	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	今後機会を設けていく	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	今後機会を設けていく	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	保護者経由や支援会議で参加されていたときに聞くようにしている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	今後感染状況に応じて対応していく	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	今後機会を設けていく	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	日々連絡帳や送迎時での情報交換を行っている	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	○	希望に応じて実施		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	相談を受けた時に事業所内で会議をして改善案を提示し結果を支援につなげている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	今後感染状況に応じて対応していく	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	マニュアルにそって対応している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	週に1回ブログを更新している。送迎時に伝達している	
	35	個人情報に十分注意している	○	鍵付きのキャビネットに保管している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	児童や保護者に応じて個別に対応している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	今後感染状況に応じて対応していく	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		契約時に説明している	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難訓練を年に2回開催している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年に2回研修がある	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		必要な場合は個別支援計画書に入れるようにしている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時に詳しく聞きとりを行っている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		日々ヒヤリハット事例改善方法を記入している	